

これまでの地域福祉計画推進委員会の質問・要望について

	質問・要望の内容	担当室課	現在の取組状況	(参考)前回の記載内容(H30.2)
1	<p>千里南公園のパークカフェ整備事業については、新たなコミュニティの創設に寄与すると期待している。事業の進捗状況について教えてほしい。</p>	<p>公園みどり室</p>	<p>平成30年度中のカフェのオープンに向けて、民間事業者が建設工事を実施中です。</p>	<p>千里南公園が市民にとって心地のよい場所になることを目的として、新たなコミュニティ空間となるパークカフェの設置を計画しています。 本事業は、市民、民間事業者の様々な視点から考えられたアイデアやノウハウ、活力を活かしながら進めています。 本事業の遂行のために優れた企画力と実行力を有し、安定かつ継続した運営を行う事業者から、本事業の設計・建設・運営等についての優れた提案を募集し、審査の結果、優先交渉権者を選定しました。 平成29年度予算では、公園の基盤整備として駐車場の整備を予定しております。</p>
2	<p>認知症カフェを開設する際の認可について、保健所から一般飲食店並みの基準を求められる。福祉の観点からも、もう少し新規に開設しやすいよう、緩やかな基準を適用してもらいたい。</p>	<p>高齢福祉室</p>	<p>大阪府に確認したところ、「個別で認知症地域支援推進員の意見等ききながら認知症カフェの運営形態等について整理を行い、その上で府の健康医療部や保健所にも助言をもらい、開設時の留意点等を整理を行いたいと考えている。現状としては、一律に決められるものではないため、開設の際に事前に保健所に相談をお願いしたい。」との回答でした。 但し、本市の認知症カフェは、市民や介護保険事業者等様々な開設者により主体的に運営されており、市の認可等は必要ありません。</p>	<p>いただいた要望を受け、確認しましたところ、現在、大阪府では、府内の認知症カフェの認可状況等について把握するため、調査中とのことです。 認知症カフェについては、扱う飲食物が限定的であることや、福祉的な目的が強い取組であることから、一般飲食店とは異なる、より緩やかな基準での認可を求め、引き続き大阪府に働きかけてまいります。</p>

	質問・要望の内容	担当室課	現在の取組状況	(参考)前回の記載内容(H30.2)
3	計画の冊子P81に災害時要援護者への支援について記載がありますが、まだ途中になっています。今回の件も踏まえて何かいい方法を考えていかなければならないのではないかと。	福祉総務課	<p>災害時要援護者名簿を有効活用するためには、協定を締結した地域支援組織に平常時から名簿情報を提供し、声掛け活動や見守り活動等の地域における各種活動をとらして、お互いに顔の見える関係づくりが基本となります。</p> <p>現在、協定締結し、名簿情報を提供できている地区は6地区になります。今後も名簿情報の受取りに前向きな地区と個別に連携し、協定締結をすすめていくとともに、災害時に有効的に名簿が活用できる体制づくりに努めます。</p>	—
4	<p>上手くいっている地区の事例研究をし、その地区をモデルとしてはどうか。</p> <p>また、ラフな分析でいいので34地区の分析(災害への取組)を行い具体的な内容を話して欲しい。</p>	危機管理室 福祉総務課	<p>市内で連合自治会等を主体とした自主防災組織は24組織あり、避難訓練に立ち会ったときは、役割確認や炊き出し、消火活動などを実施していました。今後、自主防災組織同士で情報を共有したり、協議できる場を設けるなど、他の自主防災組織と意見交換する機会の提供を検討してまいります。</p> <p>災害時要援護者支援活動について、先進的に活動を進めている地域支援組織の活動内容等、紹介していく予定です。</p>	—
5	福祉に関する意識啓発で災害の際の地域の関係づくりについて取り上げては	福祉総務課	<p>福祉に関する意識啓発では災害に関する取組として、大阪府北部を震源とする地震や台風21号で開設された災害ボランティアセンターでの活動について紹介し、地域福祉活動の中核となる社会福祉協議会のPRやボランティアの重要性を示すことで支え合いの仕組みづくりの推進に努めます。</p> <p>また、顔の見える関係づくりとしては地域福祉市民フォーラムで取り上げて重点課題の推進に努めます。</p>	—
6	福祉の意思啓発を行う際に、他市の状況も参考にしてみたい	福祉総務課	<p>他市が取組んでいる福祉事業を参考にし、次回実施の際に効果的に意識啓発が行えるよう検討を進めます。</p>	—